



小平第七小学校

所在地 小平市大沼町一丁目22番1号
 電話 042-341-0664 FAX 042-341-3183
 電子メール gakkou@07.kodaira.ed.jp
 校長 神子 知浩 副校長 嶋田 真粧美
 児童数 650名 学級数 21学級
 教職員数 37名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和37年 小平市立小平第七小学校開校
 38年 校章、校歌制定
 41年 東京都研究奨励校（理科）、校舎完成
 43年 プール完成
 44年 小平市研究推進校（算数）
 46年 体育館完成、校庭拡張
 47年 開校10周年記念式典
 57年 開校20周年記念式典
 59年 新校舎完成、校庭整備、プール更衣室完成
 60年 40人学級実施 27学級、プール機械室完成
 平成4年 開校30周年記念式典
 7年 小平市研究奨励校
 8年 ボランティア活動普及事業協力校（3年間）
 10年 「人権の花」運動実施校
 11年 ボランティア活動推進校（3年間）
 12年 プール温水シャワー設置、校庭改修
 13年 パソコン教室設置
 14年 開校40周年記念式典
 19年 体育館耐震補強工事
 21・22年 小平市研究推進校
 24年 開校50周年記念式典、特色ある教育活動
 25年 文部科学省コミュニティ・スクールの推進への取組研究委託校
 26年 コミュニティ・スクールに指定
 通級指導学級「はなみずき」開設
 26・27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 27・28年 小平市研究推進校（体育）
 28年 オリンピック・パラリンピック教育重点校
 東京都ICT教育環境整備支援事業推進校
 子供の体力向上推進優秀校
 小平市研究推進校研究発表会（体育）
 29年 東京都ICT教育環境整備支援事業発表会
 東京学芸大学教育実践研究センター/3市連携IT活用コンソーシアム共同研究校発表会
 全国学校体育研究優良校
 東京都小学校体育研究会研究推薦校発表会
 30年 小平市特色ある教育活動推進校（プログラミング教育）
 「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰（小平七小コミュニティ・スクール）
 31年 子供の体力向上推進優秀校
 令和2・3年 小平市研究推進校（特別の教科 道徳）
 4年 開校60周年記念行事

【教育目標】

日本国憲法及び教育基本法に則り、本校及び地域社会の実態に基づき、次の目標を掲げ、その達成に努める。

- ◎よく考える子
- いつも元気な子
- こころのやさしい子



【教育目標を達成するための基本方針】

- [確かな学力の定着と向上] 「主体的・対話的で深い学び」を大切にし、他者の考えを聞きながら、自分の考えを確かなもののできる児童の育成を目指す。
- [たくましく生きる力の育成] 「日常的な挨拶の指導」を徹底し、いつでも、どんなことにも、すすんで粘り強く取り組むことができる児童の育成を目指す。
- [豊かな心の育成] 「人権を尊重する学級経営」を進め、自他の生命を大切にするとともに、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成を目指す。
- [情報教育の推進] ICT機器を積極的に活用し、視覚的に分かりやすい授業、そして、児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。
- [特別支援教育の充実] 児童が落ち着いた学校生活を送ることができるような環境づくりを目指す。また、特別支援教室「はなみずき」学級の指導が効果的になるよう通常学級も連携していく。他校への巡回指導も多いので、共通理解や相談をする時間をしっかりと設定する。同時に保護者の理解協力を得られるように取り組んでいく。さらに、全職員での研修も引き続き行う。
- [キャリア教育の推進] 児童が、将来、社会人として自立して生きる力の基礎を育成する。そのために、他者との関わりを通して自尊感情を高めたり、一人一人のよさを認め合ったりできるようにする。また、系統的な心の教育がキャリア教育の推進には不可欠であるという観点から、その具現化を図る。
- [学年会の充実と研究・研修の活性化] 教科担任制に向けて、学年会の充実と校内研究を学校経営の大きな柱とする。校内研究については、「表現力」を高める指導の在り方を追究し、重点目標「よく考える子」の具現化を目指す。
- [コミュニティ・スクールの推進] コミュニティ・スクール10年目となる。地域の中の学校として、家庭・学校・地域が同じ方向性で子どもたちを育てられるよう、地域の声や保護者の願いを生かして学校経営を行う。また、小・中連携及び地域連携を推進するとともに近隣幼稚園や保育園とも連携していく。



開校60周年キャラクター



小平第八小学校

所在地 小平市鈴木町一丁目355番地
電話 042-321-4872 **FAX** 042-321-4893
電子メール gakkou@08.kodaira.ed.jp
校長 井口 修 **副校長** 小嶋 信夫
児童数 691名 **学級数** 22学級
教職員数 31名

【沿革】(抜粋)

昭和39年 小平市立小平第八小学校開校
校章制定
 41年 校庭築山(はちのこ山)完成
 44年 たて穴式住居発見される(校庭東側)
小平第八小学校校歌制定
プール完成
 49年 体育館新築工事竣工
 62年 校舎大改修<窓枠アルミサッシ化、トイレ、特別
教室床、天井>
 平成12年 校舎耐震工事、廊下一部張替
 13~15年 ボランティア活動普及事業協力校
 14・15年 豊かな体験活動研究協力校
 15・16年 学校給食における学校・家庭・地域連携推進校
 17年 小平市研究協力校 研究発表会
 18年 「こだいら地域子ども教室」の活動が認められ、
文部科学大臣より感謝状
 19年 研究発表会
<都小体研、市研究推進校>
 20年 小平市教育研究協力校
 21年 体育館耐震補強工事
コミュニティ・スクール推進事業受託
 22・23年 東京都人権尊重教育推進校
コミュニティ・スクール指定校
キャリア教育優良校(文部科学省)
 25年 キャリア教育研究発表会
 26年 開校50周年記念式典・祝賀会
 27年 東京都教育委員会子供の体力向上推進優秀校受賞
東京都教育委員会言語能力向上拠点校
 29年 小平市教育委員会特色ある教育活動推進校
特別支援教室開室
 令和2年 北校舎外壁改修工事
 3年 南校舎外壁改修工事
 4年 西校舎増築工事竣工

【教育目標】

学習指導要綱に基づき、東京都教育委員会の教育目標及び基本方針、小平市教育振興基本計画を踏まえて教育課程を実施する。「確かな学力、豊かな人間性、健康な体」を基盤とし、コミュニティ・スクールとして、保護者、地域が一体となった学校づくりを目指す。地域に根ざした教育活動を推進することによって、「思いやりがあり心豊かな子」「すすんで社会に貢献しようとする子」「自ら学ぶ創造力豊かな子」「健康でたくましい子」の育成を目指し、次のとおり、教育目標を設定する。

◎思いやりのある子(重点)

- よく働く子
- 工夫する子
- 元気な子



ブロック班活動
(はちの子まつり)



【教育目標を達成するための基本方針】

- ア 全教育活動を通して、生命尊重の心や自尊感情・自己肯定感、互いを尊重し合う態度を育むとともに、差別や偏見の解消を図るために、人権尊重の教育を推進する。
- イ 互いのよさを生かして多様な他者と協働する力を身に付けさせるとともに、他者に貢献する態度を育む。
- ウ 児童の状況を把握し、いじめの早期発見、早期解消に努め、いじめをなくす指導を徹底する。
- エ 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得、定着させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む。併せて、体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を図る。
- オ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習の取り組む態度の涵養を目指し、カリキュラム・マネジメントを推進する。
- カ 体験学習を通して夢や感動を与える教育活動を実践し、児童の学習意欲や問題解決能力を高めるとともに、家庭と連携し、児童の学習習慣の確立を図る。
- キ 各教科における言語活動を充実させ、コミュニケーション能力の育成及び言語能力の育成を図る。
- ク 心身の調和的発達を目指し、体育や体育的活動などを通じて体力を養うとともに、食育や望ましい食習慣、また、規則正しい健康的な生活習慣の確立を図る。
- ケ 特別支援教育コーディネーターを中心として校内支援体制及び指導の充実を図り、児童一人ひとりを大切にするきめ細やかな指導を行い、安心できる学級づくりを目指す。
- コ 地域に関わる学習内容を取り入れるとともに、地域人材や教育力の導入を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。キャリア教育の視点から、自尊感情、自己有用感・肯定感を育み、将来に対する夢や希望をもつ児童を育成する。
- サ 中学校、幼稚園、保育園との接続を踏まえ、児童の健全育成について連携を図っていく。花小金井南中学校区(五小・八小・花小金井小・花小金井南中)の小・中学校が連携して、教育諸課題の解決に向けた教育活動の改善を図る。
- シ コミュニティ・スクールとして、学校と保護者、地域が一体となった学校づくりを目指す。学校行事、学校公開、学校だより、ホームページ等で、日々の教育活動の様子を伝える。
- 「八小コミュニティ・スクール」として、学校経営協議会の組織及び運営方法をさらに充実・改善する。総務部会、及び学校・地域支援部会の活性化を図る。
- 放課後子ども教室、土ようひろばなどを通じて、保護者・地域の方々と児童との交流を深め、本校の教育活動のさらなる発展・進化を図る。



小平第九小学校

所在地	小平市鈴木町一丁目82番地
電話	042-341-4340 FAX 042-341-3606
電子メール	gakkou@09.kodaira.ed.jp
校長	三品 佳子 副校長 千葉 智弘
児童数	452名
学級数	17学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）4学級）
教職員数	25名

【沿革】(抜粋)

昭和40年	小平市立小平第九小学校開校 校歌「青い風だよ」制定
41年	理科指導小平市研究指定校
45年	プール完成
50年	開校10周年記念式典
51年	プレハブ教室解消 体育館完成
55年	開校15周年記念式典
60年	開校20周年記念式典
63年	観察池、流水実験池完成
平成7年	開校30周年記念式典
8年	小平市教育委員会研究奨励校
12年	コンピュータールーム完成
16年	特別支援学級「ポプラ学級」開設
17年	開校40周年記念式典
19年	小平市教育委員会研究協力校研究発表（体育）
22年	小平市研究推進校（国語）
23年	小平市研究推進校（国語；二次研究発表）
25年	教職大学院連携協力校 校舎内空調設備設置
26年	教職大学院連携協力校 小平市特色ある教育活動推進校
27年	教職大学院連携協力校 開校50周年記念式典
28年	小平市特色ある教育活動推進校
28・29年	東京都公立小中学校ICT教育環境整備事業実施校
30・31年	小平市特色ある教育活動推進校
31年	コミュニティ・スクール推進校
令和2年	コミュニティ・スクール設置
4・5年	東京都人権尊重教育推進校 小平市研究推進校（人権尊重教育）

【教育目標】

人権尊重・生命尊重の精神を基調とし、心身共に健康で人間性豊かな児童の育成を目指す。同時に、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、SDGs、地球環境問題、少子高齢化等社会や時代の変化に主体的に対応し、持続可能な社会の作り手となるための基礎を培うことを目指し、次のとおり教育目標を定める。

- ・ よく考えすすんで学ぶ子
- ・ 助け合うやさしい子
- ・ 心も体もたくましい子



学習者用端末を活用した授業



【教育目標を達成するための基本方針】

- 「助け合うやさしい子」の育成を目指し、人権尊重教育の推進を中心とした教育活動を実施する。
互いに認め合い励まし合う経験や地域の自然や学校で飼育している動植物とのふれあいから、自分の良さ、他者の良さに気付き、自他を共に大切にする心情を育てる。また、豊かな人間性や社会性を養い、正しい人権意識や規範意識を身に付けさせる。
- 「よく考えすすんで学ぶ子」の育成を目指し、各教科の基礎的な知識・技能の定着を図る。特に算数科においては、東京ベーシック・ドリルやICT機器等を活用し、習熟度別指導による問題解決的な学習を通して、児童が考える楽しさを味わえる授業づくりに取り組み、数学的な思考力・判断力・表現力を高める。
- 「心も体もたくましい子」の育成を目指し、体育・道徳・特別活動・生活指導の充実と「楽しみながら運動プログラム」の活用により、健康を大切に思い、体を動かすことに親しみ、心身ともに健やかに、安全に生活しようとする態度を育てる。
- 総合的な学習の時間を中心に豊かな体験活動に取り組み、地域の特色を生かした探究的な学習活動を推進する。また、読書活動を推進し、児童の考えを伝えたり交流したりする言語活動を充実させることで、児童の言語力・言語感覚を豊かにする。
- 小平第三中学校区の小・中連携教育を推進・充実することを通して、連続性のある学びを展開し、将来の自分を思い描き、夢をもって学び続ける児童を育成する。
また、近隣の幼稚園・保育園との交流を深め、入学後の児童の望ましい教育環境を整える。
- 特別支援教育コーディネーターを中心に、担任、特別支援教室専門員、スクールカウンセラー、巡回相談員、市内通級指導学級、特別支援教室巡回指導教員、教育相談室等との連携を図り、特別支援教育の充実と組織的な対応を推進する。
- 保護者・地域・関係諸機関との連携をさらに強化し、学校公開・アンケート・学校経営協議会・学校保健委員会等で保護者・地域の声を広く求め、要望等を謙虚に受け止め、開かれた学校づくりを推進するとともに、学校評価等学校改善に反映させる。

【ポプラ学級（特別支援学級）の教育目標】

- 自分で考え、行動できる子ども
- 生活に必要な能力や技能をもち、活かせる子ども
- 集団の決まりや社会のルールがわかり、いろいろな人と交流できる子ども
- 健康で明るい子ども
- あきらめず、最後まで頑張ろうとする子ども



小平第十小学校

所在地 小平市上水本町四丁目4番1号
 電話 042-321-5576 FAX 042-321-5561
 電子メール gakkou@10.kodaira.ed.jp
 校長 山縣 弘典 副校長 小澤 泰斗
 児童数 722名 学級数 24学級
 教職員数 35名

【沿革】 (抜粋)

昭和40年 小平市立小平第十小学校開校
 41年 校章制定
 49年 体育館完成
 50年 開校10周年記念式典 校旗完成、校歌制定
 60年 新校舎完成 開校20周年記念式典
 平成4年 プール全面改修
 7年 開校30周年記念式典
 8年 開校30周年記念植樹「ゆずりは」
 17年 開校40周年記念式典
 18年 東京都「日本の伝統・文化理解教育推進校」発表
 20・21年 小平市教育委員会研究推進校研究発表
 27年 開校50周年記念式典
 31年 東京都型学校運営協議会設置
 令和2年 コミュニティ・スクール設置

【教育目標】

小平市の教育がめざす人間像「自立」「共生」「貢献」を踏まえ、人権尊重を基盤に、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となる児童の生きる力を育むため、児童一人一人が、児童同士、児童と教師、多様な人と関わり、相互に高め合いながら成長することのできる教育を推進する。

◎考える子 ◎やさしい子 ○やりとげの子 ○たくましい子
 今年度は、考える子、やさしい子の育成を重点とする。

【経営方針の具現化に向けて】

- 1 十小の全スタッフが大切にすること
 - ・健全な倫理観、社会性
 - ・スピード感(直ぐやる、後回しにしない)
 - ・イノベーションスピリッツ(挑戦、革新、前例踏襲打破、気概、作業でなく仕事をする)
 - ・予防、予見
 - ・高いアンテナ
 - ・相互理解、相互尊重、相互感謝(前向きな姿勢・言葉、明るさ、後ろ向き発言、あしを引っ張る発言や行動は子どもたちを教える仕事として絶対禁止)
 - ・地域を大切にすること。
- 2 「よいところをもっとよく」を基本に実践を進める。
 - ・教職員一人一人のモチベーションを教職員相互が理解して、創意とチャレンジ精神にあふれた教育活動を展開する。
 - ・分掌一人一提案を進め、組織・分掌を活性化させる。
 - ・より高い教育を求めて全教職員が研修をし続ける。
 - ・新たな教育の課題や社会的な要求に柔軟に対応する。
- 3 「豊かなふれあい・確かな児童理解・きめ細かな指導」を徹底する。
 - ・子どもたちと共に学び、共に遊び、共に働く。
 - ・個に応じた指導を工夫し、子ども一人一人の学ぶ力を伸ばし、生かす。
 - ・子ども一人一人に活動する場を用意し、個性を伸ばす。
 - ・子ども一人一人の作品に、励ましの言葉を添える。
- 4 いじめ、不登校、問題行動、人権侵害などへの早期対応体制を確立する。
 - ・学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの予防に係る教職員の感度と児童理解を深化させ、また、初期対応にスピード感と丁寧さをもってあたる。また、「人権教育プログ



ラム」を常時活用して、差別や偏見をなくし、互いの違いや異なりを認め、よさを認め合う「他の人も自分も大切に」人権教育を推進・充実させる。

共通指導キーワード「他の人も自分も大切に」

- 5 地域の伝統を守り、新たなことにも挑戦する十小コミュニティ・スクールとして、本校・地域の活動を充実させる。
 - ・児童、保護者、地域、教職員が積極的に参画して誇り・自慢となる「十小コミュニティ・スクール」にする。
 - ・地域の思いや願いを形にする。(熟議と実行)
 - ・子どもたちの健やかな育ちのために保護者・地域の方々・地域施設の方々が参画・協働する場を積極的に設定する。
 - ・「あいさつ」「ありがとうございます」「お世話になります」の言葉が通うことが連携の基盤になることを心にとめ、積極的に地域・保護者の方々とかかわり、ふれあう。
- 6 学習指導・生活指導を通して、学ぶ意欲と学び続ける態度、よりよく生きる実践力を育てる。
 - ・在校時間の80%以上は授業時間である。授業改善に力を入れ、学ぶ楽しさを実感させながら「学習意欲」を高め、誰一人取りこぼさない授業をめざす。
 - ・各教科の年間指導計画・評価計画に基づき、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用を図り、「教えて、考えさせる授業」を大切にすること。
 - ・タブレット端末を活用した授業・学習、大型テレビ、書画カメラ、デジタル教科書など積極的なICTの活用も含めた指導内容・方法・体制の工夫・改善を図りながら、授業刷新を進める。
 - ・できるところからではなく、学習者用端末全学級積極活用・学校、学年、学級閉鎖時、オンライン授業を実施すること。
- 7 「基本的生活習慣」の定着と社会性を育てるために、集団指導と個に応じた見届ける指導にメリハリを付けながら指導を行う。
 - ・学校は集団における学びの場であり、四中、上水中、他中学校、上級学校、社会人を見据えて指導を行う基礎の場が小学校である。
 - ・あいさつ励行 ・げた箱かかと揃え ・廊下歩行
 - ・5分前行動 ・授業の始業、終業のあいさつ・号令
- 8 インクルーシブ教育の推進を図り、多様性を認め合う、多様性に応じた柔軟な指導・支援、特別支援学級教員、保護者連携を強化する。
 - ・特別支援教室専門員、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室「よつば」との連携により、特別に配慮を要する児童に対する特別支援を充実させる。
 - ・タブレット端末、ICT機器の積極活用(言葉の見える化、残る化)
 - ・特別支援教室「よつば」での指導の在り方や様子を全教員があらゆる機会をとらえて参観・情報共有し、在籍学級や専科の授業に生かす。



小平第十一小学校

所在地 小平市花小金井四丁目16番1号
 電話 042-462-0810 FAX 042-462-2077
 電子メール gakkou@11.kodaira.ed.jp
 校長 上松 久美子 副校長 奥原 裕
 児童数 675名 学級数 21学級
 教職員数 31名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和42年 小平市立小平第十一小学校開校
- 44年 プール完成
- 45年 校章制定、校歌制定
市研究推進校研究発表 (国語)
- 49年 校地拡張、体育館完成
- 51年 文部省地域指定道徳教育研究発表
- 52年 開校10周年記念式典
- 53年 校舎増築工事完成
- 62年 開校20周年記念式典
- 平成5年 大規模改修工事終了
- 7年 時計塔完成 (故 志賀先生寄贈)
- 8年 ボランティア協力校
- 9年 プール全面改修工事完了
市教育研究奨励校研究発表
開校30周年記念式典
- 11年 ボランティア推進校
給食室・控室改修工事完了
- 12年 校庭改修工事完了
- 13年 コンピュータ室設置
- 14年 市学童農園実施校指定
- 17年 教育相談室開設
- 18年 市研究協力校研究発表 (算数)
- 20年 開校40周年記念式典 (1月)
- 22年 市研究推進校研究発表 (国語)
- 26年 市特色ある教育活動推進校 (体力向上)
- 27年 都オリンピック・パラリンピック教育推進校
- 28年 市研究推進校研究発表 (体育)
- 29年 市特色ある教育活動推進校 (いのちの学習)
開校50周年記念式典
都子供の体力向上推進優秀校表彰
- 30年 市特色ある教育活動推進校 (いのちの学習)
都プログラミング教育推進校
都パラリンピック競技応援校
青少年赤十字加盟校
- 令和元年 都プログラミング教育推進校
コミュニティ・スクール設置
- 2年 市特色ある教育活動推進校 (いのちの学習)
- 3年 市特色ある教育活動推進校 (ICT教育)
- 4年 市特色ある教育活動推進校 (ICT教育)

【教育目標】

児童が互いの人格を尊重し、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付けることを目指す。

また、自ら学び考え行動する個性と創造力豊かな児童の育成のため次の目標を掲げ、達成のため不断の努力をする。

<気品と気概のある子>

「かしこい子」 自ら学び 考えて行動し、責任をもつ子
【思考・判断・表現力】

「つよい子」 めあてを決めて 最後までやりぬく子
【体力・調整力・粘り強さ】

「やさしい子」 友達と仲良く協力し合う子
【コミュニケーション力】

*教育目標の達成に向けて育てたい力を上記【 】のように設定した。

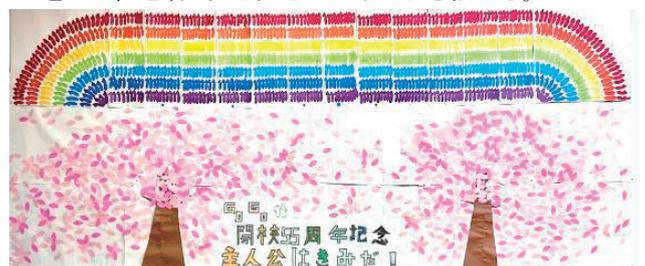


【教育目標を達成するための基本方針】

- 1 確かな学力の向上
 - *基礎的・基本的な学習内容の定着 (補充学習の実施・東京ベーシックドリルの活用)
 - *主体的、対話的で深い学びのある授業の拡充
 - *読書活動の充実
 - *ICTを積極的に活用した教育の推進
- 2 健やかな心と体の育成
 - *運動の日常化、健康維持の習慣化の推進
 - *幼・保・中・家庭と連携した体力向上
- 3 豊かな心の育成
 - *自己肯定感の醸成 (適時適切な価値付け、市等実施の諸作品募集への積極的参加)
 - *いじめの「予防」と「見逃しゼロ」の意識向上
 - *規範意識の醸成
 - *道徳教育の充実 (保護者・地域とともに)
 - *特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的連携の強化
 - *通常の学級におけるユニバーサルデザインの取組「わかる」授業の展開
 - *特別支援教室「はなみずき」と通常の学級との協働
 - *特別支援教育に関する理解の促進 (理解教育と教員研修の実施)
 - *言語感覚の向上 (人権への意識、相手意識の向上)
 - *言語環境の整備 (語彙の拡充、教職員の言語意識の強化)
 - *あいさつの充実
 - *自学力の向上
 - *危険を予測し、回避する判断力の育成
 - *「生き方」を考えるキャリア教育の実践
- 4 地域・社会貢献意識の醸成
 - *「地域とのつながり」を感じる取組の充実 (ゲストティーチャー・地域住民等のボランティアの活用)
 - *児童が地域へ直接働きかける (関わる) 活動の充実

【コミュニティ・スクールの取組】

- *地域と協働し、学校の教育活動を持続性のあるものにする。
- *「地域住民等のボランティア」など、学校での活動を通じて、地域の人と人とのつながりを強める。





小平第十二小学校

所在地 小平市小川町一丁目464番地
 電話 042-342-1761 FAX 042-342-1760
 電子メール gakkou@12.kodaira.ed.jp
 校長 岩井 純一郎 副校長 矢島 直子
 児童数 675名
 学級数 25 (うち特別支援学級 (知的障害 [固定]) 4学級)
 教職員数 34名

【沿革】 (抜粋)

昭和43年 小平市立小平第十二小学校開校
 44年 校章制定
 プール完成
 46年 小平市教育研究推進校
 48年 校歌制定
 49年 体育館完成
 54年 開校10周年記念式典
 63年 開校20周年記念式典
 郷土室設置
 小平市教育研究奨励校
 平成2年 ランチルーム整備
 小平市教育研究奨励校
 6年 小平市教育研究奨励校
 10年 開校30周年記念式典
 11年 コンピュータルーム完成
 14年 東京都少人数学習集団による指導法研究推進校研究発表会
 15年 けやき学級開設
 18年 小平市教育委員会 研究推進校
 19年 小平市教育委員会 研究協力校
 20年 開校40周年記念式典
 23年 小平市教育委員会研究奨励個人・グループ研究校
 24年 東京都スポーツ教育推進校・体育講師配置校
 東京都教育委員会「子供の体力向上推進優秀校」受賞
 25年 東京都教育委員会スポーツ教育推進校・体育講師配置校
 コーディネーショントレーニング実験校
 26年 東京都教育委員会オリンピック教育推進校
 27年 東京都教育委員会「オリンピック・パラリンピック教育推進校」「伝統・文化教育推進校」
 28年 東京都教育委員会「道徳教育推進拠点校」
 30年 開校50周年記念式典
 31年 小平市特色ある教育活動推進校
 東京都「法」に関する教育推進校
 令和2年 東京都「法」に関する教育推進校
 西校舎完成
 3年 コミュニティ・スクール設置
 東京都小学校体育研究会研究協力校
 小平市教育委員会研究推進校
 4年 小平市教育委員会研究推進校
 国立教育政策研究所教育課程実践検証協力校
 5年 プール改修工事完了



【教育目標】

- ◎明るく元気でたくましい子 (重点目標)
- よく考えすすんで実行する子
- たがいになかよくする子

【教育目標を達成するための基本方針】

- 6年間の系統性を踏まえ、各学年の基礎的・基本的な内容の確実な定着を目指す授業を創造する。児童に達成感・成就感を味わわせるような指導法を工夫する。常に指導と評価の一体化を図り、授業改善を図る。
- 身に付けた知識や技能を「活用する力」を育てるため、「主体的・対話的で深い学び」を意識した課題解決的な学習に取り組む。
- 児童が基本的な生活習慣を身に付け、健康・安全への意識を高め、すすんで運動に取り組み、体力の向上を図ることを目指す。体育授業及び体育的活動の充実を図る。さらに健康・安全教育、食育について専門的知識の導入を推進し、充実を図る。
- 「いじめ・暴力は絶対に許さない」ことを指導し、児童の人権意識を高める。また、「きまり」の必要性や社会生活上のルールやモラルを分かるまで教え、規範意識を高め、集団生活を過ごせる態度を育てる。さらに、「あいさつ運動」を推進し、豊かな人間関係が築けるような児童の育成を図る。
- ICT機器を効果的に活用して、視覚的に分かりやすい授業を実施し、基礎・基本の確実な定着を目指すとともに主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。また、児童が一人1台の学習者用端末を効果的に活用できる力や態度を育成するとともに、授業展開を工夫していく。さらに端末の課題となる情報モラル教育を推進する。
- 特別支援教育の充実を図り、心豊かな児童の育成を目指す。児童が落ち着いた学校生活を送ることができる環境作りをする。また、特別支援教室の指導が効果的になるよう在籍学級と連携するとともに、全職員が特別支援教育への理解を深める。
- キャリア教育の推進を図り、児童が将来、社会人として自立して生きる力の基礎を育成する。他者との関わりを通して自尊感情を高めたり、一人一人のよさを発信したりできるようにする。また、様々な場面で、上級生が下級生の手本となり尊敬の眼差しで見られるような流れを作る。
- 学校全体の指導力が高められるような校内研究を推進する。教師一人一人が各種研修、他地区研究発表会へ積極的に参加し、自らの専門性の向上に努め、学んだことを校内にも広め、教員全体の専門性も高める。
- コミュニティ・スクールとして、保護者と地域と連携して児童を育てていく学校経営及び教育活動を展開する。



C S お花植えボランティアとの連携



小平第十三小学校

所在地 小平市小川西町一丁目22番1号
 電話 042-342-1762 FAX 042-342-1763
 電子メール gakkou@13.kodaira.ed.jp
 校長 山倉 尚 副校長 後藤 茂敦
 児童数 396名 学級数 13学級
 教職員数 20名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和43年 小平第六小学校より分かれ小平市立小平第十三小学校開校
 たいさんぼくを開校記念として植樹
- 44年 校章制定 (たいさんぼくの花をデザイン化)
 45年 プール竣工
 47年 校歌制定
 49年 体育館竣工
 51年 小平市研究奨励校
 53年 開校10周年記念式典
 63年 開校20周年記念式典
- 平成8年 十三小保護者と教職員の会発足
 10年 開校30周年記念式典
 11年 新校舎・特別教室完成
 14年 校舎耐震補強工事完了
 15年 エレベータ設置工事完了
 18年 校庭芝生化工事完了
 20年 開校40周年記念式典
 小平市研究協力校
- 21年 東京都スポーツ推進校 (2年間)
 22年 全国学校体育優良校
 25年 小平市教育委員会研究推進校 (2年間)
 28年 保護者による正門、北門の立ち番始まる
 「ふれあいパトロール」東京都教育委員会感謝状
- 30年 開校50周年式典
- 令和元年 小・中連携型コミュニティ・スクール設置
 2年 「子どもの体力向上推進優秀校」都教委表彰
 4年 単独型コミュニティ・スクール設置

【教育目標】

- ◎ 自ら考え行動する子ども ○ 仲良く助け合う子ども
 ○ 明るく元気な子ども



市内唯一の
 校庭芝生化
 ・裸足の運動会の実施
 ・裸足の休み時間の実施
 (5月～10月)



【学校の教育目標を達成するための基本方針】

- 自ら考え行動する子ども
- 自らの個性をよさと認識して生かしつつ、多様な他者を価値ある存在として尊重し、将来に向かって自ら学び他と共に生きる児童を育成する。
 - 問題解決的な学習、個に応じた指導、学習者用端末の活用等を、日々の授業改善を通して充実させ、学習の個別最適化を図るとともに、各教科の基礎的・基本的な内容の確実な習得と定着を通して児童の学力の向上を目指す。
 - 家庭学習の習慣を定着させるとともに、家庭での学習者用端末活用や個に応じた課題提示等を通して、家庭における学習の個別最適化を促し学力向上の一助とする。
- 仲良く助け合う子ども
- 全教育活動を通して、他者と共に学び、認め合い高め合う豊かな心を育てる。
 - 特別の教科道徳を中核としていじめや偏見・差別を許さない指導の徹底を図り、正しい人権意識や規範意識を身に付けさせるための道徳教育を推進する。
 - 高齢者、障がい者、特別支援学校との交流を積極的に行い、豊かな人間性や社会性、共生の意識を醸成する。
 - 特別支援教育推進の観点から、「こだらこれだけは」を踏まえた学習環境の整備、特別支援教室との情報共有、関係諸機関や家庭との連携をより一層充実させる。
- 明るく元気な子ども
- 健全育成や心身の健康づくりのために、望ましい生活習慣の定着を学校と家庭とが連携して指導する。食と健康には、栄養士や校医・薬剤師等と連携した食育及び健康指導を積極的に推進し、家庭や地域への啓発に努める。
 - 裸足の外遊びを市内で唯一実施できる全面芝生の特性を生かし、運動する楽しさを味わわせ体力の向上を図るとともに、自ら運動に親しむ資質・能力を身に付けさせる。
- その他の事項
- コミュニティ・スクールとして、地域と共に児童を育成する体制を構築する。



泰山木の花 花言葉「前途洋々」



小平第十四小学校

所在地 小平市仲町33番地
 電話 042-343-0201 FAX 042-343-0200
 電子メール gakkou@14.kodaira.ed.jp
 校長 小林 広二 副校長 田山 剛丈
 児童数 359名 学級数 12学級
 教職員数 29名

【沿革】 (抜粋)

昭和44年 小平市立小平第十四小学校開校
 新築落成記念式典
 45年 プール竣工、校章制定
 48年 増築校舎（管理棟、普通教室4教室）完成
 49年 体育館完成
 50年 校歌・校旗制定
 54年 10周年記念式典
 平成元年 20周年記念式典
 9年 情緒障害学級（通級）「くすのき」開設
 11年 30周年記念式典
 13年 外壁塗装工事完了、コンピュータ室設置
 16・17年 文部科学省教育課程研究指定校（学校図書館との連携を深めた教育等の指導の在り方）
 19年 文部科学大臣表彰（読書活動）
 20年 耐震補強工事完了
 エレベーター・階段昇降機設置
 21年 40周年記念式典
 23年 東京都「生産体験の推進事業実施校」
 各教室に無線LAN設置
 24年 小平市「特色ある教育活動推進校（デジタル教科書活用）」
 東京都「スポーツ教育推進校」
 25年 東京都言語能力向上推進校
 25・26年 文部科学省コミュニティ・スクール研究校
 26・27年 東京都言語能力向上拠点校
 小平市教育委員会研究推進校
 27年 東京都教育委員会 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 東京都教育委員会 日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業校
 小平市教育委員会 コミュニティ・スクールに指定
 28年 東京都教育委員会 情報モラル推進校
 29年 東京都教育委員会 日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業校
 東京都教育委員会 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 小平市教育委員会 特色ある教育活動推進校
 30年 東京都教育委員会 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 「夢・未来」プロジェクト実施校
 小平市教育委員会 特色ある教育活動推進校
 令和元年 50周年記念式典
 東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校
 2～5年 東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校

【教育目標】

人権尊重の精神を基調に、心身共に健康で、知性と感性に富み、生涯学び続けようとする国際性豊かな日本人の育成を目指して、次の目標を掲げる。

- ◎ たくましい子 強靱な意志と実践力をもち、心身共に（本年度の重点目標）健康でたくましく生きる子ども
- 考える子 自ら学ぶ意欲をもち、主体的に問題を解決しようとする子ども
- やさしい子 自然を愛し、他人を思いやる豊かな心をもつ子ども
- おこなう子 勤労・奉仕の精神を尊び、自主的・自発的にすすんで行動する力をもつ子ども



【教育目標を達成するための基本方針】

人と人とのつながりを大切にする、笑顔あふれる学校

四つの「かい」がある学校

- 児童にとって「学びがい」がある学校
- 教職員にとって「働きがい」がある学校
- 保護者にとって「託しがい」がある学校
- 地域にとって「支えがい」がある学校

- 1 確かな学力の定着・向上
 - ・規律ある学習習慣、基礎的基本的な学習内容の定着。
 - ・東京ベーシックドリルの継続的な取組。
 - ・話すこと、聞くこと、書くことの力を伸ばす取組。
 - ・読書活動の一層の充実。家庭学習の充実。
- 2 授業力・生活指導力の向上
 - ・一人1台端末を活用した授業実践。単元・教材開発。
 - ・学習環境・授業のユニバーサルデザイン化。
 - ・個に応じた指導・支援。くすのきとの連携。
- 3 豊かな人間性の育成
 - ・基本的生活習慣の確立。
 - ・挨拶及び「はい」・「立つ」・「です」の定着。
 - ・相手意識をもった言葉づかい、適切な声の大きさ。
 - ・異学年交流活動及び道徳指導の充実。
 - ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決、再発防止。
 - ・不登校の未然防止、対応・支援、関係機関との連携。
- 4 健康でたくましい心身の育成
 - ・運動の日常化につなげる体育授業の充実。
 - ・体力テストの結果を受けた重点化と継続的な実践。
 - ・十四小トライアル、縄跳び月間、持久走月間等の実践。
 - ・食育に係る体験型学習活動の充実。
- 5 保護者・地域から信頼される学校づくり
 - ・社会に開かれた教育課程の実現。
 - ・HP、学校ブログの更新による広報活動の充実とPR。
 - ・学級通信で日常の様子を保護者に伝える。
 - ・保護者と教員が、子どもへの期待・願いを共有する。
 - ・地域人材の積極的活用、単元開発。
 - ・子どものための小中連携の充実。
 - ・学校経営協議会を活用し、委員、地域の力を取り入れる。
- 6 人材育成、服務事故防止
 - ・自己研鑽+組織的な育成、職層に応じたOJTの実施。
 - ・ヒヤリハットも服務事故と考え、未然防止に努める。
- 7 働き方改革・風通しのよい学校
 - ・退勤予定時刻の申告。
 - ・無理・無駄・ムラをなくし、工夫改善を常に考える。



女子ソフトボール
 東京オリンピック
 金メダリスト
 渥美万奈選手による
 「講話」



小平第十五小学校

所在地 小平市小川町二丁目1136番地
 電話 042-343-0203 FAX 042-343-0204
 電子メール gakkou@15.kodaira.ed.jp
 校長 深野 義法 副校長 小林 敦子
 児童数 522名 学級数 17学級
 教職員数 36名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和44年 現小平市立小平第四小学校内に小平市立小平第十五小学校として設置・開校
- 45年 プール竣工
- 47年 小平市教育委員会研究推進校研究発表会
- 49年 校章制定、体育館竣工、北校舎増築
- 50年 校歌制定
 焼窯設置 (充吾庵窯と命名)
- 54年 開校10周年記念式典
- 平成元年 開校20周年記念式典
- 4年 ランチルーム整備工事
- 8年 東京都学校給食優良校表彰
- 11年 開校30周年記念式典、祝賀会
 コンピュータルーム完成
- 12年 小平市教育委員会研究協力校研究発表会
- 14年 二中地区教育サポートネット推進校
- 15年 学校給食の学校・家庭・地域連携推進校
- 16年 耐震補強工事完了
- 17年 小平市教育委員会研究推進校指定 (国語科)
- 18年 小平市教育委員会研究協力校研究発表会
- 19年 小学校英語活動等国際理解活動推進事業拠点校 (文部科学省)
- 21年 学校動物飼育モデル校事業学校奨励賞
 開校40周年記念式典、祝賀会
- 23年 よつば学級 (通級学級) 開設
- 25年 普通教室、特別教室冷房化工事完了
- 26年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校指定
- 27年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校研究開発校指定
- 28・29年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校指定
- 令和元年 開校50周年記念パルーンリリース
 開校50周年記念式典・祝賀会
- 4年 コミュニティ・スクール設置

【教育目標】

- (1) ◎考える子
自分の考えをもち、すすんで取り組める児童
- (2) ○思いやりのある子
自らを律しつつ、相手の立場や気持ちを考えて共に生きる豊かな心の児童
- (3) ○たくましい子
健康でねばり強い心と体力をもち、たくましく生きる児童



学習者用端末を使った授業 (国語)



【教育目標を達成するための基本方針】

しっかりと学び、元気と笑顔あふれる十五小

小平第十五小学校に学ぶ児童一人ひとりが確かな学力とたくましく生きる力を身に付け、心豊かに育つよう、すべての児童の人権や個性を大切にし、豊かな社会性や自主性を育てる。そのため、どの児童も、毎日を元気に楽しく過ごし、しっかりと学び、楽しく学ぶことができる学校づくりを目指す。

【今年度の教育活動等の目標と主な方策】

- (1) 学力の向上と保障
 - 「学ぶ喜びや楽しさを実感し、意欲的に学習の課題、学習する方法をつかみ、最後まで追求し、解決できる子」 (自立)
 - ・「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性等」を着実に身に付けさせるために「主体的・対話的で深い学び」を追求した授業改善。
- (2) 人権尊重の精神の醸成と心の教育の充実
 - 「気持ちの良い挨拶や返事をし、すすんで人とかかわることができる子」 (共生)
 - ・道徳科授業を中心として全教育活動を通じた豊かな道徳性や道徳的実践力の育成。
- (3) 体力の向上と健康な心
 - 「自分の体に関心をもち、楽しんで体を鍛え、健康的な生活を送ることができる子」 (自立)
 - ・運動の特性を踏まえた体育の授業展開と運動時間の確保。
- (4) 安全・安心な学校づくり
 - 「安心して教室で過ごすことができる子」 (共生)
 - ・学校を取り巻く様々な危機に対しての意識を向上させ、安心・安全な環境づくりに努めるとともに自分の身は自分で守る児童の育成。
- (5) 特別支援教育の充実
 - 「自分の可能性を信じる子」 (自立)
 - ・すべての児童一人ひとりの良さを認め、より伸ばす教育の実施に向けたユニバーサルデザインの視点における教室環境の整備とスモールステップでの段階的指導の促進。
- (6) 家庭・地域と共に歩む学校づくり
 - 「自分の住んでいる地域に関心をもち、地域の一員として役に立とうとする子」 (貢献)
 - ・学校経営協力者会議と連携した学校運営の実施。